

8/24

自己ベストを目指す 第30回洞爺湖町水泳選手権競技大会

とうや湖水泳協会は第30回洞爺湖町水泳選手権競技大会を町民プールで開催し、洞爺湖町水泳少年団や伊達スイミングクラブのほか、町内の小中学生のスイマー29人が参加し、自己記録の更新を目指しました。競技は男女とも小学1・2年生、同3・4年生、同5・6年生、中学生、一般の年齢に分かれ、種目は14種類が実施されました。選手たちは、仲間や家族の声援を背に、力強い泳ぎを披露しました。



勢いよくプールに飛び込む選手

8/23~8/26

三豊フレンドリーツアーで小学生来町 洞爺湖町小学生と交流を深める

友好都市の三豊市から小学生が3泊4日の日程で洞爺湖町に来町し、地元小学生との交流を深めました。来町したのは、「ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー」の小学6年生23人と引率者3人の総勢26人。滞在中には、中島散策や火山科学館の見学などを実施。洞爺湖ではカヌーやバナボートも体験しました。ジャガイモ掘りをした児童は「初めてだけど、楽しかった」と話しました。



ジャガイモ掘りを楽しむ子どもたち

8/31

心地よく観光客を迎えるために 洞爺湖をきれいに 中島清掃実施

洞爺湖町文化団体協議会（越前谷邦夫会長）による、洞爺湖中島の清掃が行われ、会員30人が参加しました。同団体は、平成18年から洞爺湖中島の清掃を毎年行っており、今年で14回目。越前谷会長は「洞爺湖のシンボルである中島をきれいにし、心地よく観光客を迎えたい」と話しました。当日は、洞爺湖中島の清掃を行った後、マイムマイムや盆踊りなどで会員の交流を深めました。



中島の清掃を行った会員

8/24

地元新鮮野菜を販売 ACとうや 野菜直売所

洞爺湖町・豊浦町に在住する青年農業者で構成するACとうや（小野寺勲会長）主催の野菜直売所が、虻田テニスコート駐車場で行われました。当日は、もぎ取ったばかりのスイートコーン約200本のほか、大根やニンジン、長ネギなど約15種類の新鮮な野菜や果物が並べられました。小野寺会長は「お客さんと顔を合わせて販売する機会を大切にしたいです」と話しました。



スイートコーンを買い求めるお客さん

9/7・9/8

旬の味覚を楽しむ とうや水の駅 収穫うまいもの市

第15 回収穫うまいもの市（NPO 法人洞爺まちづくり観光協会主催）がとうや水の駅ふれあい広場で行われ、旬の味覚を求めて、多くのお客さんで盛り上がりました。

特設会場では焼きそばやかき氷などの屋台が並び、タマネギやダイコン、ジャガイモ、ニンジンの野菜詰め放題では、お客さんが袋いっぱい野菜を詰めていました。8日には、HONDA バイクオーナーズイベントも開催されました。



袋いっぱい野菜を詰めるお客さん

9/5

幼児たちとのふれあいを楽しむ 芋掘り交流会実施

5 月末に養護老人ホーム幸生の園の畑に植えたジャガイモの収穫を入江・本町保育所の幼児15人で行いました。

幼児は「このジャガイモの形がいい」「すごく大きいのが植えた」などと自分たちが植えたジャガイモの収穫を喜び、楽しんでいました。

収穫後は、ふるりの丘総合福祉館内の地域交流スペースふれあい広場で、同園やケアハウスの入居者に歌や踊りなどを披露しました。



ジャガイモの収穫を楽しむ幼児たち

9/18

地域貢献のために奉仕活動 株式会社高橋建設に感謝状

株 式会社高橋建設（高橋哲也社長）が大原調整池の環境整備や維持管理の軽減に貢献したことから、町長室で感謝状が贈呈されました。

同社は施工にも携わった畑地かんがい施設である大原調整池の法面部分の草刈作業を平成20年からボランティアで実施し、今年は20人の従業員が参加。

感謝状を授与した高橋社長は、「地域貢献として、今後も活動を継続していきたいです」と話しました。



感謝状を授与した株式会社高橋建設高橋社長

9/9

災害時の食事を体験 アルファ米を試食

入 江保育所で停電となった状況を想定した地震の避難訓練を幼児36人を対象に実施しました。

今回の訓練では、初めてアルファ米を試食。幼児たちに災害時と普段の食事の容器やコメの炊き方の違いを知ってもらうことを目的としています。

アルファ米を見た幼児は「いつものコメと色や形が違う」と普段食べているコメと比較しながらアルファ米を使ったカレーライスを食べていました。



アルファ米を使ったカレーライスを食べる幼児たち